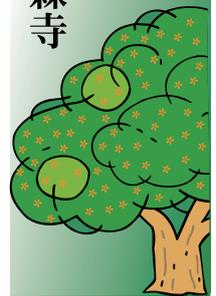


# ふるさと探訪

## 第5回 王至森寺



王至森寺は、舒明天皇が道

後へ行幸の途中、燧灘で暴風雨に遭い、森の中の寺で難を避けられたところから「王至森寺」といわれるようになったとの伝説があります。

創建は、636年。法性山

多聞院といい、山門の扁額「法性山」は、小松藩三代藩主一柳

頼徳公の筆跡です。

王至森寺には、昭和2年に日本最大級の巨木として国の天然記念物に指定されたきんもくせいがあります。

このきんもくせいは、根回り約4.5m、高さ約16mといわれています。台風や虫害で頂上部が折損しており、根元付近も空洞化しているもの、

3本の分枝幹でその偉容を保持しています。

樹齢は、定かではありませんが、千数百年ともいわれ、9月下旬

王至森寺 本堂



国指定天然記念物 きんもくせい



■住所 飯岡3021番地  
TEL 0897-55-2251

■駐車場 あり(無料)

からの開花時期には、枝いっぱい赤みのある黄色の花を咲かせ、その香りは遠くまで漂い、秋祭りの到来を告げます。

平成13年には、香り環境の特に優れた地点として、環境省の「かおり風景百選」にも認定されています。